

基本目標	望ましい街の姿（基本目標レベルで目指す将来像）	重点戦略課題
<p>元気な経済が生まれ、 安心して働ける街さっぽろ</p>	<p>多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民や NPO は、積極的に起業に挑戦しています。また、本市の様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活気に満ちています。働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。</p> <p>また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。</p>	<p>中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援</p> <p>安心して働ける環境づくり</p> <p>協働による観光振興とコンベンション事業の推進</p> <p>さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出</p> <p>アジアの産業ネットワークの拡大</p>
<p>健やかに暮らせる 共生の街さっぽろ</p>	<p>高齢者、障がいのある人、子育て家庭など誰もがお互いを理解し、尊重し合いながら、地域の中でふれあい、支えあって生きいきと健康に暮らしています。</p> <p>地域の交流や支えあいを通じて、人と人のネットワークが核となって、様々な分野に市民活動の輪が広がり、課題の解決や目標の実現に向けて、個性豊かな地域づくりが進められています。</p>	<p>魅力あふれる地域づくりの推進</p> <p>少子化対策の推進</p> <p>地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進</p> <p>地域での健康づくりの推進</p>
<p>世界に誇れる 環境の街さっぽろ</p>	<p>多雪寒冷な気候がもたらす北国らしい明瞭な四季を通じて、ゆたかなみどりや水辺、雪など変化にとんだ自然環境を身近に楽しむことができます。</p> <p>都心部や地域の中心などでは、都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー利用効率や公共交通の利便性に優れ、誰もが大都市ならではの快適な生活を送ることができます。</p> <p>都市の環境を守り、将来の世代に良好な環境を継承するため、市民一人ひとりが資源やエネルギーをできる限り使わない、ごみを発生させないといったことを基本とする生活が定着しています。</p>	<p>水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現</p> <p>地球環境問題への対応と循環型社会の構築</p> <p>ゆたかな冬の暮らしの実現</p> <p>歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造</p>
<p>芸術・文化、スポーツを 発信する街さっぽろ</p>	<p>誰もが気軽に参加できる文化活動が街のいたるところで行われているとともに、市民のライフスタイルや多様なスポーツ活動に応えることのできる環境づくりが進み、文化、スポーツを身近なものとして感じることができます。</p> <p>札幌ならではの質の高い芸術や伝統文化に触れる機会が充実するとともに、スポーツにおける札幌ブランドが高まり、札幌の街の個性として独自の文化を育てています。</p> <p>芸術・文化やスポーツの魅力あふれる札幌の都市文化を世界に向けて発信し、国内外の人たちとの交流を深めています。</p>	<p>芸術・文化の薫る街の実現</p> <p>スポーツの魅力あふれる街の実現</p>
<p>ゆたかな心と創造性あふれる 人を育む街さっぽろ</p>	<p>子どもたちは、地域社会の中で温かく見守られながら、夢や目標の実現に向かって、学習やスポーツに生き生きと取り組むとともに、社会の一員として、家族や友人と一緒にボランティアや地域活動にも積極的に参加しています。</p> <p>市民のだれもが、それぞれのライフステージで積極的に学び、ゆたかな人間性や創造性を培い、学んだ成果を様々な機会を発揮するとともに、自分の可能性に挑戦し海外でも活躍するなど、人生に生きがいや楽しさを感じながら暮らしています。</p>	<p>自立した市民に育てる教育の推進</p> <p>さっぽろを支え、発信する人づくり</p>

**基本目標：芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ**  
**重点戦略課題：芸術・文化の薫る街の実現**

市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

札幌ならではの質の高い芸術・文化に触れる機会が充実し、芸術・文化を身近なものとして感じることができます。  
 市民、企業・活動団体、行政の協働により、市民がより活気あふれる文化活動ができるような環境づくりがなされ、誰もが気軽に参加できる文化活動が街のいたるところで行われています。  
 札幌の歴史、伝統文化、文化遺産などが市民共有の財産として大切にされるとともに、地域に根ざした個性ゆたかな文化が育っています。

**現状と課題**

芸術・文化への市民の関心の高まり  
 札幌芸術の森、キタラなどレベルの高い芸術・文化施設の充実と人材育成  
 市民レベルの公演や展覧会など市民の芸術・文化活動の活発化と支援の仕組みづくり  
 伝統文化・文化遺産等の保存と活用による新たな文化の創造、発信

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術・文化活動への参加・鑑賞</li> <li>・ 文化ボランティア活動への参加</li> <li>・ 伝統文化に対する理解 など</li> </ul>
企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メセナ活動等による芸術・文化の支援など</li> </ul>
NPO, 活動団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術・文化活動の情報交換とネットワーク化</li> <li>・ 文化ボランティア活動のリード など</li> </ul>
教育機関・指導者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術・文化の振興を担う指導者や専門家の育成 など</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術・文化活動の支援・活性化</li> <li>・ 芸術・文化に関する情報の発信</li> <li>・ 伝統文化の継承支援 など</li> </ul>

**施策の基本方針**

世界都市さっぽろならではの質の高い芸術・文化に親しむことのできる環境を充実させる  
 市民が街のいたるところで芸術・文化の楽しみを享受し発信できる文化の薫るまちづくりを進める  
 誰もが気軽に参加できる身近な文化活動を振興する  
 地域の優れた自然や文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進する  
 伝統文化の継承を支援し、市民理解の促進を図る

**施策**

- < 芸術・文化活動を担う人材の育成 >
  - ・ 青少年が芸術・文化鑑賞に親しむことのできる環境の充実
  - ・ 札幌の芸術・文化振興の担い手の育成を支援
- < 芸術・文化交流の促進 >
  - ・ 芸術・文化活動団体のネットワークづくりと情報発信、国内外との交流の促進
- < 芸術・文化活動促進のための環境づくり >
  - ・ 質の高い芸術・文化に親しむことのできる環境の充実
  - ・ 既存施設の有効活用と活性化による練習の場と表現する場の確保
- < 芸術・文化活動の振興 >
  - ・ 芸術・文化活動に取り組む市民、NPO、ボランティアなどの活動拠点の整備や活動を支援
  - ・ 市民の主体的な活動を支援するための仕組みづくり
- < 文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 >
  - ・ 地域の優れた自然や文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進
  - ・ 地域に根ざした個性ゆたかな文化の振興を支援
  - ・ アイヌ文化のゆたかな知恵と伝統の継承支援と市民理解の促進

**分科会での主な議論**

アイヌ民族の伝統文化、生活文化に学び、自然と共生する価値観や生活文化を育てるべき  
 まちなかの公共空間で札幌の文化をアピールするなど、札幌ならではの文化の魅力を発信する  
 身近な公共施設や学校、廃校を文化活動の場に開放し、小さな表現活動の場を広げていくべき  
 子どもたちや若者の表現活動を支援し、地域の人々と共に楽しむ場づくりを進めるべき など

**基本目標：芸術・文化，スポーツを発信する街さっぼろ**  
**重点戦略課題：スポーツの魅力あふれる街の実現**

市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

地域スポーツクラブをはじめとした、いつでも、誰もが、どこでも、自分のライフスタイルや多様なスポーツ活動に応えることのできる環境が整っています。

札幌らしいスポーツ文化と言えるウインタースポーツの振興により、誰もが冬に体を動かし、健康づくりや仲間づくりなど多様な楽しみを持つことで冬の生活がゆたかになっています。

プロスポーツをはじめとしたトップスポーツチームを地域ぐるみで支えることにより、スポーツ活動のすそ野が広がり、地域からトップ選手が生まれています。

**現状と課題**

- スポーツ活動への市民ニーズの多様化(競技中心から身近で気軽に楽しめるものへ)
- 子どもたちのスポーツ活動の機会の減少(特に、冬のスポーツ活動の停滞)
- 身近な外遊びの場の不足と子どもたちの体力・運動能力の低下
- 企業運動部の休廃部などによるスポーツ選手の活動場所の不足
- スポーツ観戦やイベント運営への参加などスポーツ活動の広がり
- 市民の財産としてのプロスポーツの活用

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民，企業，行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭でスポーツを楽しむ環境づくり</li> <li>スポーツクラブ，イベントへの参加 など</li> </ul>
企業・プロスポーツクラブ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に根ざしたスポーツ活動の推進</li> <li>企業チームの選手による地域への指導交流</li> <li>運動施設の空き時間開放 など</li> </ul>
NPO・競技団体・体育振興会等地域のスポーツ団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域スポーツクラブづくりに向けた活動の多種目化，団体相互の交流活動</li> <li>家族や初心者対象の教室の実施 など</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ活動の総合的な情報提供・指導者派遣のしくみづくりや調整</li> <li>スポーツ振興施策が円滑に進むための調整(コーディネート) など</li> </ul>

**施策の基本方針**

市民の誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくりを進める  
 札幌ならではの冬のスポーツの新たな楽しみ方を発信する  
 スポーツにおける札幌ブランドを高めるため、地域に根ざしたプロスポーツを市民と育てる  
 地域におけるスポーツ活動団体の連携・融合による地域スポーツクラブのしくみを検討する

**施策**

- <スポーツを楽しむ環境づくり>  
 学校開放の充実など利用しやすいスポーツ環境の整備とスポーツの場の拡大  
 地域のスポーツ活動団体の拠点である区体育館や学校開放などの施設を一体的に活用し、一つの地域スポーツクラブとするしくみを検討
- <スポーツ情報の提供や人材確保のしくみづくり>  
 民間を含めた総合的なスポーツ情報を市民との協働により発信  
 「スポーツ人材バンク」などの登録制度による人材派遣のしくみづくり  
 地域における指導者育成・活用の支援
- <トップスポーツの積極的活用>  
 プロスポーツによる地域密着の普及・育成活動と連携して、施設や人材などの資源の効果的な活用・集積を推進
- <ウインタースポーツの重点化と調査・研究の推進>  
 ウインタースポーツの重点スポーツとしての位置付けと調査・研究の推進  
 「2007 ノルディックスキー世界選手権大会」を契機としたウインタースポーツへの関心の喚起
- <健康づくり運動とスポーツ振興の連携>  
 健康づくり運動から発展して、市民のライフスタイルに「身体(からだ)づくり」を定着させる施策を推進

**分科会での主な議論**

公共スポーツ施設や地域のクラブ活動の情報を発信するシステムをつくるべき  
 市街地にいつでも遊べるようなスポーツクラブのパイロット事業をやってみてはどうか  
 トップスポーツと地域のスポーツをつなぐ仕組みづくりを考える必要がある  
 まちなかで札幌ならではの冬のスポーツ文化を発信する仕掛けづくりを行うべき など

**基本目標：ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ**  
**重点戦略課題：自立した市民に育てる教育の推進**

市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

札幌の明日を担う子どもたちが、学校、家庭、地域社会の連携のもと、社会の一員として、思いやりとゆたかな心を持ち、元気にたくましく育っています。  
 子どもたちは、個性を生かし、自ら学び、自ら考え、自ら行動できる力を身につけるとともに、未来に夢を持ち、意欲的に学んでいます。

**現状と課題**

家庭や地域社会の教育力が十分発揮されない状況  
 非行やいじめ、不登校の存在  
 子ども同士、特に異年齢間の交流機会の減少などによる社会性の不足  
 夢や目標を築くことが難しくなっている子どもたち  
 自ら学ぼうとする意欲の低下  
 国際化、情報化、科学技術の進展や環境問題への関心の高まり

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの自主的な取組への助言・協力</li> <li>親同士のネットワークづくり</li> <li>子どもを社会全体で育てるという意識による連携など</li> </ul>
企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験学習の場の提供</li> <li>専門的な知識・技術の提供</li> <li>ボランティア活動への支援 など</li> </ul>
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な知識・技能の提供</li> <li>ボランティア活動の促進 など</li> </ul>
大学などの 高等教育機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育ボランティア活動への支援</li> <li>学校との連携推進 など</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動の推進、体験事業の提供</li> <li>一人ひとりのニーズに合った教育</li> <li>家庭、地域社会との連携 など</li> </ul>

**施策の基本方針**

子どもたちの思いやりとゆたかな心をはぐくむ環境づくりと学びの意欲を育てる教育を推進することにより、自立した市民に育成する  
 人間尊重、国際理解、環境問題、情報化などの今日的な課題に対応する教育を推進する

**施策**

<思いやりとゆたかな心をはぐくむ環境づくり>  
 学校教育における家庭や地域社会の様々な専門家との連携体制の一層充実  
 非行やいじめ、不登校に対する取組の推進  
 地域活動への参加や世代間交流、ボランティア体験や野外活動などの取組の推進  
 社会体験や自然体験などの子どもたちの自主的な活動を支援  
 子どもたち一人ひとりの権利を尊重した取組の推進

<学びの意欲を育てる教育の推進>  
 基礎的・基本的な知識・技能や学び方、思考力、判断力、表現力などの確かな学力を身に付けさせる教育の推進  
 学校施設など教育環境の整備  
 障がいのある子どもに対する、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実と地域で共にはぐくむ教育の推進  
 生徒の個性を尊重し多様な選択肢を提供するための特色ある市立高等学校づくりの推進  
 人間尊重、国際理解、環境問題、情報化などの今日的課題に創造性ゆたかに取り組む力と意欲の育成

分科会での主な議論

札幌市の子ども基礎学力や学習意欲、日常生活などの現状把握をする必要がある  
 芸術・文化体験を通して子どもの社会性を育む取組が重要  
 総合学習の場や不登校児が来られる場所として民間フリースクールとの連携・交流を進めるべき  
 個別指導や総合学習などに地域の人材を活用できるシステムづくりが必要  
 地域のボランティアや高齢者が子どもたちの教育に活躍する仕組みづくりを考えるべき  
 家庭の教育力を向上させる取組を重視する必要がある  
 不登校の子どもたちが社会やいろいろな人と触れあえる活動の拠点づくりが必要  
 P T A や地域住民が学校運営にかかわる学校を試験的に実施すべき など

**基本目標：ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ**  
**重点戦略課題：さっぽろを支え、発信する人づくり**

市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

子どもから高齢者までの多様なニーズに応じた生涯学習環境が整い、市民一人ひとりが自らを磨き高め、その成果を様々な機会を発揮し、まちづくりに積極的に参加するなど、生きがいを持って暮らしています。

市立大学をはじめとする高等教育機関では、それぞれが個性ゆたかな教育・研究を行い、創造性あふれる多くの人材を生み出すとともに、地域社会への貢献はもちろん、広く世界に情報を発信しています。

**現状と課題**

- 学習や活動に取り組む市民の増加とニーズの多様化
- NPOなどによる多様な公益活動の活発化
- 高等教育機関の集積を生かした多様な学習機会の提供
- 高等教育機関が有する高度で専門的な教育を行うための人材・施設を生かした地域社会への貢献

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を高める学習の実践</li> <li>学習成果を生かした様々な地域活動への取組 など</li> </ul>
企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の学習環境の整備</li> <li>インターンシップの受け入れ</li> <li>社会貢献活動への取組 など</li> </ul>
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な知識・技能の提供</li> <li>自主的な学習機会の創出</li> <li>ボランティア活動の促進 など</li> </ul>
大学などの高等教育機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>次代を担う人材の育成</li> <li>他の大学などとの連携による人材育成機能の向上</li> <li>社会人のリカレント教育推進</li> <li>人材、施設の活用などによる地域への貢献 など</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOなどと連携した市民の学習環境の整備</li> <li>大学など高等教育機関との連携強化</li> <li>公益性の高い学習機会やサービスの提供・充実 など</li> </ul>

**施策の基本方針**

多様な学習機会の提供とその成果を発揮できる環境づくりや、市立大学の設置と高等教育機関との連携強化の取組の推進により、まちづくりを担う人材を育成する



**施策**

- <多様な学習機会の提供とその成果を発揮できる環境づくり>
  - 地域社会やボランティア、NPOなどとの連携の推進
  - 市民の身近な場所での学習機会の充実
  - 学習やその成果を生かす活動の支援
  - 図書館サービスの拡充
  - 地域住民のニーズに根ざした学校施設のさらなる開放
  - 環境教育や司法教育などの新たな学習機会の提供
- <市立大学の設置と高等教育機関との連携強化>
  - 市立大学の設置による産業振興や保健・医療の充実、芸術・文化の向上などの地域貢献への積極的な取組
  - 札幌圏の大学が持つ多様な教育・研究機能をまちづくりに活用するための大学間ネットワークづくりを推進
  - 高等教育機関との連携による「さっぽろ市民カレッジ」などの講座事業の充実等、リカレント教育の推進

分科会での主な議論

学習機会の充実には、学習スキル獲得による個人の雇用機会の増大という面もある  
 図書館サービスの拡充を地域のボランティアが担っていくシステムを考えるべき  
 市立大学と地域の大学や諸施設との連携の仕組みづくりを考える必要がある  
 自分自身が成長するきっかけとしてボランティアを位置づけることをシステム化できないか  
 廃校を活用し、ものをつくるプロセスを体験できるような学習の場を考えるべき など

## 成果指標

## 成果指標とは

まちづくり計画に掲げる政策目標の実現に向けて、具体的な目標となる項目を定め、その目指すべき水準について数値などを用いて定量的にわかりやすく示すとともに、政策・施策の成果を把握していくための指標。

## 新まちづくり計画での位置付け

基本目標に掲げる「望ましい街の姿」の実現に向けて、まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体が協働して、ともに目指していく数値目標。

より適切な指標の選定や定期的なデータの把握など、時間をかけて検証しなければならない課題があることから、今回は、試行として位置付けている。

指標は、できる限り、「成果指標（アウトカム指標）」を採用するが、データがとれないなど設定が困難な場合には、「活動指標（アウトプット指標）」で代替する。

## 指標の種類

- ・活動指標（アウトプット指標）...事業費や事業量など、具体的な活動量や活動実績を測る指標（例：道路の整備延長）。
- ・成果指標（アウトカム指標）.....施策や事業の実施により得られた成果を測る指標（例：交通渋滞の緩和）。

## 指標項目選定の基本的な考え方

重点戦略課題ごとに2～5の指標を設定。（全体で50余の項目）

市民にわかりやすい指標項目を基本とするが、データ把握の可否などを踏まえて選定。

## 目標値設定の基本的な考え方

既に部門別計画などで目標値が定められているものについては、その考え方との整合性を図る。

新たに設定する指標については、指標の現状値や過去の推移、全国の状況などを勘案して目標を設定。

指標項目	現状値	目標値	備考
	(年度)	(年度)	
主要芸術・文化施設（札幌芸術の森、キタラ、教育文化会館、札幌市民ギャラリー、写真ライブラリー、主要文化財施設）の利用者数	163万人 (H13)	190万人 (H18)	市民の芸術・文化活動の活発さや関心の度合いを示す指標の一つ（推計人口を目標値として設定）
学習・研究の種類別行動者率（芸術・文化）	8.7% (H13)	9.5% (H18)	総務省の「社会生活基本調査」における札幌大都市圏の数値を全国平均（H13）に引き上げる
趣味・娯楽の種類別行動者率（演芸・演劇・舞踊鑑賞）	12.5% (H13)	16.4% (H18)	総務省の「社会生活基本調査」における札幌大都市圏の数値を全国平均（H13）に引き上げる
週に1回以上スポーツをする人の割合（成人）	30.7% (H15)	40% (H18)	スポーツ振興計画の目標値50%（H22）の達成を目指して設定
直接スポーツ観戦をする人の割合	41.8% (H15)	50% (H18)	二人に一人が、年に1回は直接スポーツを観戦することを目指す
スポーツボランティアの経験がある人の割合	9.1% (H15)	20% (H18)	スポーツイベントやスポーツ活動を支えるボランティアの増加を目指す
不登校児童生徒数	小学校 286人 中学校 1,239人 (H14)	30%程度減 20%程度減 (H18)	学校や家庭、地域社会全体で取り組んで、不登校児童生徒数の減少を目指す
地域への授業公開校の割合（小・中学校）	51.0% (H14)	80% (H18)	家庭や地域との連携を進めるため、開かれた学校づくりを目指す
小・中学校における地域人材の活用人数	7,649人 (H14)	10,000人 (H18)	各教科や総合的な学習の時間等におけるボランティア数の増加を目指す
電車やバスの中で席を譲った経験がよくある、たまにある子どもの割合	53.6% (H14)	70% (H18)	子どもの思いやりの心を表す指標の一つ（小・中・高生の実態調査）
学習の中で不思議だと思ってもそのままにする子どもの割合	14.9% (H14)	5ポイント減 (H18)	子どもの学びの意欲を表す指標の一つ（小・中・高生の実態調査）
学習や活動（趣味・スポーツを含む）をしている人の割合（成人）	65.0% (H12)	75% (H18)	成人の4人に3人が、何らかの学習や活動をしている状態を目指す
学習成果を活用したい人の割合（成人）	58.0% (H12)	70% (H18)	今後、新たに何かを学び、その成果を何らかの形で生かしたいと思う人の割合
学習環境に満足している人の割合（成人）	53.3% (H12)	65% (H18)	何らかの学習をしている人のうち、現在の学習環境に満足している人の割合
さっぽろ市民カレッジ受講者数	2,400人 (H14)	3,000人 (H18)	NPOや大学等と連携協力した講座を増やし、受講者数の増加を目指す
生涯学習を支えるボランティア数	4,000人 (H14)	4,500人 (H18)	学校図書館ボランティアなど生涯学習関連のボランティア数の増加を目指す